

改選後最初の区議会の課題は 防災・福祉から原発問題まで…

日本共産党荒川区議会議員団

横山幸次

区政報告
ニュース

426

2011年6月12日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページを
ご覧下さい。
「横山区議」で検索して
下さい。

いま区政で何が焦点か… 公約への対応も各会派に問われます

6月6～7日にかけて改選後最初の区議会（6月22日から7月4日まで）で区が提出する議案の内示が各委員会に行われました。

震災関連では、約9500万円規模の補正予算（左下囲み参照）が出されただけです。

被災地への支援、区内の被害、防災や不安が広がっている放射能問題への対応など区の側からの報告はありませんでした。

日本共産党区議団は、各委員会でも放射線量の測定



補正予算 高齢者、障害者に 家具転倒防止を支援

区は、補正予算で家具転倒防止など防災関連の事業を提案。しかし木造住宅の耐震化、放射線測定、太陽光発電システムの導入推進など盛られていません。共産党区議団は、再度こうした内容の申し入れを区長に行いました。（内容は裏面をご覧ください）

家具類転倒防止器具取付費助成 2800万円

65才以上の方と世帯、障害者の方を対象に取り付け費用1万円を限度に支給。

給水車の整備 956万円

震災等非常時における給水活動に活用するため給水車を購入します。

災害援護資金の貸付 5700万円

全壊、半壊で罹災証明を受けた方に、無利子で150万から500万円の融資

例えば不安の声が多く寄せられている放射能汚染問題



例えば不安の声が多く寄せられている放射能汚染問題

スカイツリーのビューポイントは共産党控室？ 今日は雨雲に先端が隠れた姿を眺めて…

来年5月22日開業の東京スカイツリー。報道では、展望台に上る料金もつばら話題になっています。第一展望台まで2000円、その上の第二展望台4550円は、プラス10000円合計30000円です。高いか安いかはそれぞれの考え方にもよるかと思いますが、巷では、やはり「高い」との声が多いようですね。（横山幸次）



裏面 太陽光発電、第2次「緊急要求」内容など

定例法律相談

7月4日(月)
午後6時～8時

横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。生活相談は、随時受け付けています。

TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

太陽光など自然エネルギーの導入 先進都市…飯田市を視察してきました



上は、ソーラーパネルが設置された民間住宅群

右は、飯田市の児童館に設置されたソーラーパネル



太陽光発電のとりくみで長野県飯田市の「おひさま株式会社」と飯田市の取り組みを視察してきました。この会社は、05年に公共施設の屋根にソーラーパネルを設置する目的のファンドを組み、個人や企業から2億集めました。これまで4次のファンドで8億円以上を集めています。注目されているのが初期費用ゼロの「おひさまゼロシステム」です。「おひさま株式会社」が住宅所有者の屋根に

無償で太陽光発電設備（200万円）を設置、9年間電力を供給。住宅所有者は、この電力を購入し毎月19,800円（トータル210万円）を同社に支払います。9年間の使用貸借の契約期間が終了すると設備は無償で住宅所有者に譲渡されます。このゼロシステム活用は、現在約50件個人設置の1000件とあわせ3.6%（全国平均が1%以下）の設置率です。荒川区なら全世帯数の3300世帯が設置する規模です。

荒川区でもぜひ工夫して自然エネルギーの導入を飛躍させたいものです。



飯田市内にあるメガソーラーパネル群

駅の屋根、三河島下水処理場…区内の公共施設に太陽光発電を



JR東日本高崎駅ホーム屋根



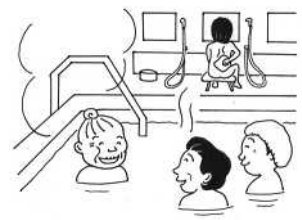
大阪府村野浄水場

全国では、駅の屋根や下水処理場など様々な場所にソーラーパネルが設置されています。置することも求めていきます。

一人暮らし高齢者の入浴券が「廃止」!?

荒川区は、一人暮らし高齢者の入浴券（ふれあい入浴）などの「届け出制度」を廃止する計画です。7月からは、「高齢者見守りネットワーク事業」に統合するとしていきます。その代わりに「ふるわり200」の充実などを検討中とのこと。具体化は、これからのようです。しかし「ふれあい入浴」という目的とともに高齢者のくらし応援としても大事な制度だったわけですから、キチンと説明すべきです。

元気で長生きできる環境を支えるためにも、お風呂券は、なくなるといって先に「ふるわり200」の回数を増やすことを具体化してほしいものです。



放射線測定、自然エネルギー導入、災害予防強化とともに 保育・教育環境への配慮を求める申し入れ

荒川区長 西川 太一郎 殿
2011年6月6日

日本共産党荒川区議会議員団

第二回定例会を控え、震災対策の一環として家具転倒防止支援や生活資金の貸し付けなど9500万円にのぼる補正予算を内示されました。我が党区議団としても評価するものです。しかしながら、5月26日に申し入れました、自然エネルギー導入や放射線測定については、新たな対応がありません。

原発事故の影響について、区民の不安に応える対策や節電にともなう児童、高齢者施設などへ影響軽減のために下記の事項を実施されるよう再度強く要請するものです。

記

- 1、公園・児童遊園、保育園・幼稚園・学校はじめ区内各所の放射線量測定を行い公表すること。
- 2、併せて、食品検査機器の導入を行うこと。
- 3、節電に伴う子ども、高齢者、障害者をはじめとする公共施設運営への影響を軽減するためにソーラーパネルや自家発電装置を設置すること。
- 4、節電に伴う企業の操業シフト変更もあり、休日保育を実施すること。
- 5、二重保育対策として、0歳児園での延長保育実施をすること。
- 6、国保料の値上げを凍結すること。
- 7、耐震補強工事補助事業の補助額値上げなど拡充を行うこと。

